

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

豊かなかがやく「日本海シティ輪島」再生計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

輪島市

### 3 地域再生計画の区域

輪島市の全域

### 4 地域再生計画の目標

輪島市は、日本海に突き出した能登半島の先端に位置し、人口3万4千人、面積が426km<sup>2</sup>、山地が約80%と平地が極めて少なく、海岸線の総延長が約81.8km（離島を含む）と非常に長い風光明媚な市である。

本市は、日本海に面し四季折々の海の幸を楽しむことができ、特に夏季においては、50km北方に位置する舳倉島近海において海女が素潜りによりサザエやアワビ等を採る漁が盛んである。また、冬場においては加能ガニや香箱ガニ、ぶりなどが有名である。

昭和40年代には、「ゼロの焦点」で取り上げられたこともあり、能登ブームに火がつき、千年以上の歴史をもつ近海の新鮮な海産物等を販売する朝市、総持寺祖院、堅牢で実用性を備えながら蒔絵や沈金を施した輪島塗なども加わり、昭和40年代には100万人、その後、平成3年には296万人まで観光客が訪れるところとなった。

しかし、観光客の嗜好の多様化や、海外旅行に加え、国内の地域間競争が激しくなる中で、本市への入り込み客数はバブル崩壊後毎年減少し、平成14年には150万人とピーク時から146万人の減少となった。

このような先行きの不安の中で平成15年7月7日に能登の住民の悲願であった能登空港が開港し、羽田・能登定期便が1日2往復、約1時間の飛行時間で運行され「首都圏から能登は遠いところ」という感覚が大きく改善することとなった。この機会を活かし、朝市などの従来の観光地に加え、曾々木地区における地引き網や輪島沖でのジギングバトル、定置網体験の情報等を全国に発信し、積極的に観光客の誘致活動を行った。その効果もありバブル崩壊後初めて観光客の入込み数が平成16年度に175万人となり、対前年比で7%増加した。

加えて、近年では、自然とふれあい自ら体験するグリーンツーリズム等の体験型観光の需要が増加傾向にあり七ツ島近海や、西保地区でのスキューバダイビング、沿岸全域での磯釣り大会などは、毎年参加者が増加し好評を博している。

また、近年のグルメブームを活かし、魚醤の一種である「いしる」や、加能ガニ、アワビ、サザエ、ぶり等の新鮮海産物、門前そばなどの首都圏への売り込みなどを

積極的におこない、豊かな自然環境を活かした魅力ある観光メニューの作成に、地域が一丸となって力を入れている。

しかしながら、この豊かな海域を守るための生活排水処理施設の整備が非常に遅れており、生活雑排水が海域へ流れ込み、その付近での悪臭や水質の悪化、ヘドロの堆積などの原因となって魚介類に悪影響を与える恐れがあることや、郊外での水洗化の遅れにより、本地域を訪れる観光客に対してイメージダウンを招き、回復してきた観光客数が再び減少し、グリーンツーリズム等の滞在型の観光の衰退につながることへの影響など、これら生活雑排水の対策が喫緊の課題となっている。そのため輪島市の区域では、従来より公共下水道事業、特定環境保全公共下水道、農業集落排水事業、漁業集落排水事業、浄化槽設置整備事業（市町村設置型、個人設置型）を進めているところであるが、平成16年度末における輪島市の区域の公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業、漁業集落排水事業、浄化槽設置整備事業（市町村設置型、個人設置型）を含めた普及率は50%と石川県平均の普及率80%を大きく下回っている。

このため、汚水処理施設整備交付金を活用し汚水処理施設の整備の推進を図るため一体的に促進し、公共海域の水質悪化の防止や生活環境の改善を図っていくこととする。そして、本地域の貴重な観光資源である自然環境を活かし、豊かなかがやく観光都市「日本海シティ輪島」を目指し、地域全体の活性化を図る。

（目標） 汚水処理施設の整備促進

輪島市の全域の汚水処理人口普及率を50%から73%へ向上。

## 5 目標を達成するために行う事業

### （5-1）全体の概要

輪島市中心部の「変更認可済みである公共下水道（輪島処理区）」を整備することにより、汚水処理人口普及率の向上を図るほか、輪島市郊外においては、浄化槽（市町村設置整備）を整備し、生活環境の改善と共に汚水処理人口普及率の向上を図る。加えてグリーンツーリズム関連事業を推進することにより地域全体を活性化していく。

### （5-2）法第五章の特別の措置を適用して行う事業

#### 汚水処理施設整備交付金を活用して行う事業

対象となる事業は、以下のとおり事業開始に係る手続きは完了している。なお、整備対象箇所等については、別添の整備箇所を示した図面による。

- ・公共下水道事業：平成19年3月に事業変更認可済み

[事業主体]

いずれも輪島市

[施設の種類]

公共下水道、浄化槽（市町村設置型、個人設置型）

[事業区域]

公共下水道事業	輪島処理区
浄化槽（個人設置型）	大野地区、長井地区
浄化槽（市町村設置型）	輪島市の全域（ただし、上記の地区及び特定環境保全公共下水道（門前、刃地）、農業集落排水事業（美谷、洲衛、本郷、阿岸）、漁業集落排水事業（皆月、深見）を除く）

[事業期間]

公共下水道	平成18年度～平成21年度
浄化槽（個人設置型）	平成17年度
浄化槽（市町村設置整備）	平成17年度～平成21年度

[整備量]

公共下水道	φ200～250 23,000m (うち、交付金対象事業分19,750m)
浄化槽	339基

なお、各施設による新規処理人口は下記のとおり。

公共下水道で2,140人、浄化槽（個人設置型）8人、浄化槽（市町村設置型）で1,226人

[事業費]

公共下水道	2,080,000千円 (うち、交付金1,040,000千円) (単独事業費 447,000千円)
浄化槽（個人設置型）	1,125千円 (うち、交付金 375千円)
浄化槽（市町村設置型）	352,701千円 (うち、交付金 117,567千円) (単独事業費 40,804千円)
合計	2,433,826千円 (うち、交付金1,157,942千円) (単独事業費 487,804千円)

### (5-3) その他の事業

#### 5-3-1 基本方針に基づく支援措置

該当なし

#### 5-3-2 基本方針に掲げられた支援措置によらない独自の取り組み

地域再生法による特別の措置を活用するほか、自然を生かした魅力あふれる輪島市を目指し、以下の事業を行う。

#### グリーンツーリズム関連事業

##### ① 修学旅行版グリーンツーリズム

学校教育法に定める学校、専修学校の学生などによる修学旅行が輪島市内において実施される場合、一人当たり500円助成する。

##### ② 子ども長期自然体験村

夏休みの2週間、自然豊かな輪島で石川県と横浜市の子どもたちが様々な体験をしながら一緒に生活する。

##### ③ グリーンツーリズムの継続及び新規メニューの開発

七ツ島近海のスキューバダイビング、定置網漁の体験などを組み合わせた新メニューを追加する。

#### 自然を生かしたレジャー関連事業

ジギングバトルや磯釣り、釣りいかだを活用した大会を定期的で開催する。

#### 自然を生かした特産物関連事業

① 現在行われている「かにまつり」等のイベントなどを通じ、かに、ぶり、サザエ、アワビ等の輪島ブランドの確立を図る。

② 能登空港を活用し、新鮮な魚介類や「いしる」等の食材の販路を拡大する。

## 6 計画期間

平成17年度～21年度

## 7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

計画終了後に、目標にて示した数値目標（汚水処理人口普及率73%）について調査及び評価を実施し、公表を行う。また、必要に応じて事業内容の見直しを図るために、「地域再生協議会（仮称）」を開催し、施設の整備状況について評価、改善事項の検討等を行うものとする。

## 8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

特になし